[履歴書](#履歴書)

研究業績目録

[１．原著論文](#原著論文)

・Ａ：学会誌や学術誌でレフリー制度のあるもの

・Ｂ：大学・学部の学術報告，研究会誌，試験場報告，シンポジウム等の

掲載論文

[２．著書及び訳書](#著書等)

[３．報告書](#報告書)

[４．総説・資料・書評](#総説・資料･書評)

[５．普及・実用記事](#普及・実用記事)

[６．学会・研究会・講演会・シンポジウム・セミナー等主な発表全文，要旨](#学会等)

[７．計画・設計](#計画・設計)

[８．特　許](#特許)

[９．資格・技術](#資格・技術)

[教育業績調書](#教育業績書)

特記事項

●作成上の注意

注１）本人の氏名に下線を付けてください。

注２）本人がコレスポンディング・オーサーの場合は名前の右肩にアスタリスク（＊）を付けてください。

注３）業績全体の中から主要業績１０件以内を○印で番号を囲んでください。

注４）研究業績目録、教育業績調書については年度が新しいものから記載するようにしてください。

履 歴 書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　　　月　　　日　現在  縦3.5～4.0cm×  横3.0～3.5cm  画像ファイル可 | | | | |
| ふりがな  氏　名 |  | 印 | □男  □女 | 国籍  （日本以外の場合） |
| ローマ字  （姓，名） |  | | |
| 生 年 月 日  （年齢） | 西暦　　　　年　　月　　日生  　（　 歳） | | | 学位  　○○博士 |
| 所属機関名 | ○○大学大学院 | | | 連絡先住所 〒    自宅電話：  携帯電話：  E-mail ： | |
| 部　署 | ○○研究科○学科 | | |
| 職　名 | ○○研究員 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学　　　　　　歴（高校以降） | | |
| 年  昭和○ | 月  3 | ○○県立○○高等学校卒業 |
| 昭和○ | 4 | ○○大学○○学部○○学科入学 |
| 平成○ | 3 | ○○大学○○学部○○学科卒業 |
| 平成○ | 4 | ○○大学大学院○○学研究科修士課程○○学専攻入学 |
| 平成○ | 3 | ○○大学大学院○○学研究科修士課程○○学専攻修了 |
| 平成○ | 4 | ○○大学大学院○○学研究科博士課程○○学専攻入学 |
| 平成○ | 3 | ○○大学大学院○○学研究科博士課程○○学専攻単位取得退学 |
| 平成○ | 4 | 文部省在外研究員｛○○大学（○○国）「\*\*\*研究」（○年○月まで） |
|  |  |  |
| 職　　　　　　歴 | | |
| 年  平成○ | 月  4 | ○○株式会社　入社 |
| 平成○ | 3 | ○○株式会社　退社 |
| 平成○ | 4 | ○○大学助手（○○学部）採用 |
| 平成○ | 4 | ○○大学助教授（○○学部）昇任 |
|  |  | 現在に至る |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 賞　　　　　　罰 | | |
| 年  平成○  平成○ | 月  4  4 | ○○学会奨励賞  \*\*\*に関する研究  ○○公園国際コンペ入賞 |
| 学　　　　　　位（取得大学・論文名） | | |
| 年  平成○ | 月  3 | 修士（○学）（○○大学）  \*\*\*に関する研究 |
| 平成○ | 4 | 博士（○学）（○○大学）  \*\*\*に関する研究 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | 氏　名 |
| 学会活動 | |
| H○～現在　 ○○学会評議員 | |
| H○～H○　 △△学会幹事 | |
| H○～現在　 □□国□□学会会員 | |
|  | |
|  | |
|  | |
| 社会活動 | |
| ○○県における○○審議員（平成○年から現在に至る） | |
|  | |
|  | |
| 資格，その他 | |
| 高等学校教諭　専修　免許状（農業） | |
|  | |
|  | |
|  | |
| 健康状態 | |
| 良好 | |
| 備考 | |

研究業績目録

１．原著論文Ａ

|  |
| --- |
| 通し番号．執筆者名(発表年)，表題，掲載誌 巻次(号次)：ページ |
| \*コレスポンディング・オーサー  １．千葉園子・松戸一郎（2005），熱帯における作物生産と在来農法，熱帯農業49(1)：1-9  ２．Chiba S\*，Matsudo I（2003），Chemical analysis of tropical crop seed，Tropic. Agric47(1)：100-109  ３． |

１．原著論文Ｂ

|  |
| --- |
| 通し番号．執筆者名(発表年) ，表題，掲載誌 巻次(号次)：ページ |
| １．千葉園子・松戸一郎（2005），熱帯の稲作、熱帯におけるハイブリッドライスの評価，○○大学学術報告50：1-50  ２．  ３． |

２．著書及び訳書

|  |
| --- |
| 通し番号．著者名[編集者,監修者](発表年)，書名又は論文名，発行所：ページ |
| １．千葉園子（2005），熱帯の農業.（第2版），○○大学出版：150-151  ２．Chiba S，Matsudo I (Kashiwa J，Numata S，Atagawa S eds.)（2005），  Root and tuber crops. In: Plants in subtropical and tropical agriculture，Jsta International (Tokyo)  ３． |

３．報告書

|  |
| --- |
| 通し番号．著者名※(発表年)，題名，報告書名，発行所：ページ  （※分担者を含む） |
| １．千葉園子・松戸一郎（2005），バングラディシュにおける農業教育の現状と課題，農業の歴史，○○大学国際交流学術報告：12-18  ２． |

４．総説・資料・書評

|  |
| --- |
| 通し番号．著者名※ (発表年) ，題名，書名又は誌名：ページ  （※分担者を含む） |
| １．千葉園子・松戸一郎（2005），東南アジアの資源植物の開発と利用に関する研究，科学研究費基盤研究(C)研究成果報告書(平成○～○年度)：12-19  ２． |

５．普及・実用記事

|  |
| --- |
| 通し番号．著者名※ (発表年) ，題名，発表誌 巻次(号次)：ページ  （※分担者を含む） |
| １．千葉園子・松戸一郎（2005），熱帯の花の色と形－花のふるさとを知ろう－，農耕と園芸 60(1)：1-10  ２． |

６．学会･研究会･講演会･シンポジウム・セミナー等主な発表全文，要旨

|  |
| --- |
| 通し番号．発表者名※ (発表年)，題名，誌名 巻次(号次)：ページ　又は会名  （※分担者を含む） |
| １．千葉園子・松戸一郎（2005），バナナの光合成特性，熱帯性作物の生理生態学的研究（第20報）：120.  ２． |

７．計画・設計

|  |
| --- |
| 通し番号．計画・設計者名※ (発表年) ，計画・設計作品名，発表誌 巻次  (号次)：ページ，依頼先  （※分担者を含む） |
| １．松戸一郎・千葉園子（2004），○○公園基本設計，建築雑誌○(○):○-○，○○建設  ２．千葉園子・松戸一郎（2002），○○公園基本構想，○○市  ３．千葉園子（2001），○○整備計画，○○県企画課  ４． |

８．特　許

|  |
| --- |
| 通し番号．氏名（発表年），名称，特許公報 |
| １．千葉園子・松戸一郎（2005），野菜苗の栽培方法および栽培装置，特願2005-100000号（出願人：千葉大学）  ２． |

９．資格・技術

|  |
| --- |
| 通し番号．資格・技術の名称，内容等，年 |
| １．危険物取扱主任者試験（○種），2000  ２． |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教　育　業　績　調　書  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名 | | |
| 教育上の能力に関する事項 | 年　月　日 | 概　　　　　要 |
| １．教育方法の実践例  植物分類学  資源植物生産学実習 | 平成○年4月～  平成○年4月～ | 植物の学名・来歴などの実物を示しながら解説し、植物に対する理解を深めさせている。  資源植物の生産に必要な基本的な栽培技術の指導を行なっている。 |
| ２．作成した教科書，教材  資源植物生産学実習テキスト | 平成○年4月 | 資源植物の分類・形態から生産に必要な基礎的な内容を網羅したプリント(130ページ分)を作成し、学生に補助教材として配布している。 |
| ３．その他  　市民向け公開講座 | 平成○年○月 | ○○大学開講の野菜の栽培に関する講演と実習を行なった。 |
| 職務上の実践に関する事項 | 年　月　日 | 概　　　　　要 |
| ○○大学○○学部学生生活委員会委員  広報専門部会  ○○大学学生生活委員会委員 | 平成○年○月～平成○年○月  平成○年○月～平成○年○月 | 学内広報誌の編集を行なった。  学生から学内寮の問題点や改修などの要望を聞き、生活環境の改善を要望した。 |

特記事項

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番  号 | 科学研究費等の外部資金調達状況 | 年 |
| 1 | 平成○-○年度　科学研究費若手研究(C)「○○の解明」代表2,000,000円 | 2005 |
| 2 | 平成○-○年度　科学研究費基盤研究(B) 「○○に関する研究」分担（代表者：松戸一郎） 4,000,000円 | 2000 |
| 3 | 平成○-○年度　奨学寄附金（○件） 5,000,000円 | 2000 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |